

各位

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 代表者 代表取締役社長 伊藤 主計
 (コード番号 3035)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 木村 裕史
 (TEL 052-931-1881)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年5月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年5月21日～平成21年11月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,564	61	57	27	7.43
今回発表予想(B)	4,544	138	132	78	21.60
増減額(B-A)	△20	77	74	51	
増減率(%)	△0.4	125.5	129.6	190.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年5月期第2四半期)	4,909	90	87	46	12.79

平成22年5月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年5月21日～平成21年11月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,582	20	26	12	3.33
今回発表予想(B)	4,552	71	79	47	13.06
増減額(B-A)	△30	51	52	35	
増減率(%)	△0.7	248.0	197.2	291.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年5月期第2四半期)	4,910	58	62	29	8.22

修正の理由

第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な在庫調整の進展やアジア向けを中心にした輸出の増加や生産の復調の兆しが見られ、経済対策効果による個人消費の持ち直しにより緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら企業業績・収益の減少は依然として続いており、雇用情勢の一層の悪化やデフレ状況に陥るなど、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループを取り巻く経営環境は、企業の収益の悪化による消耗品の買い控えにより、OAサプライ商品群のうち新品トナーカートリッジを中心に、紙製品のPPC用紙及びオーダー用紙の販売量の減少により売上高が前回発表予想を下回る見込みであります。

当社グループは収益力強化のため、営業面では平成22年5月期より、サプライ事業を東日本・中日本・西日本の3大都市を中心に三営業部体制を敷き、各営業部の責任者に執行役員を新たに配属することにより、営業体制を全国に3支店、17営業所と営業力の徹底強化を図って参りました。これにより営業が強力に展開でき、かつ営業効率が飛躍的に上昇することで、収益性の高い自社商品のリサイクル商品(リパケットナー)の販売本数増加に寄与いたしました。

また物流構造の改善を徹底的に行い運賃及び荷造賃の削減をし、各営業部では営業効率改善により車両維持費の削減、営業拠点の賃借料等の経費削減活動を継続的に行うことで、販売費及び一般管理費の大幅な削減をいたしました。

自社製品であるリパケットナーの生産を担う連結子会社の株式会社アイオーテクノ駒ヶ根工場では、生産のライン化による抜本的な生産態勢の見直しを行うことで、生産効率を飛躍的な向上を行うことができました。

これらの結果、営業利益・経常利益・四半期純利益とも前回発表予想を上回る見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、修正の必要が生じた時点にてお知らせいたします。

以上